

2016年度事業報告書

2016年 5月 1日から 2017年 4月 30日まで

特定非営利活動法人 CFFジャパン

1 事業の成果

【青年育成事業】

- (1) 2016年度もフィリピン・マレーシア・ミャンマーにおいて計16回の海外ボランティアプログラムを実施。計339名の参加者を現地に派遣し、16名の青年リーダーを育成した。今年度は特に「団体のミッション」に沿って立案したリーダーシップトレーニングを行ったことで、組織とリーダー自身のミッションの繋がりを深めることができ、各プログラムにおける目標設定方法も明確になった。
- (2) 文科省スーパーグローバルハイスクール指定校の順天高校との協働において、フィリピンフィールドワークのコーディネートを担当。主には同校生徒13名に対し、フィリピンでの実践活動の計画立案と現地調査のサポートを行った。現地では高校生と協働し、子どもたち約50名に向けた公衆衛生ワークショップを実施。帰国後もNGOや企業からの協力を受けながら、独自で商品開発や情報発信を行うなど、生徒が主体的に取り組むことができていることは教育機関との協働事業における大きな成果である。
- (3) CFFジャパンが目指す青年育成像を改めて検討するため、理事会での協議に加え、外部委員や青年育成事業実践者も招いた「CFF青年育成ビジョン検討会」を計3回実施。本プロジェクトの成果として、CFFジャパンが「青年が、自分や他者をケアした上で、世界・社会の問題を自分ごととしてとらえ、その解決の担い手となれるような育ち合いの場をつくる」ことを目指すことが明らかになってきた。この考えの下、今後は従来から当団体が得意としてきた自身や他者と向き合うことのみならず、青年が社会活動の実践の中で育つことも重視し、社会問題解決の担い手・スタッフとして活動を経験できる場を強化する。また、このプロジェクトの成果を内外に発信して意見交換を深め、人材育成の新たな価値を広めていくことを目指していく。

【海外子ども支援事業】

- (4) CFFマレーシアの事業に必要なトラック購入のための寄付キャンペーンを実施。1ヶ月で1,328,000円の寄付を受け目標金額を達成。「寄付に頼らない環境保全型循環農業」によって経営自立を目指すCFFマレーシアの一助となった。

【組織運営】

- (5) 既存のチャイルドケアサポーター制度と活動支援会員制度を改変し、6月より新設した「CFFサポーター

制度」に統合した。これまでの継続支援対象であった①世界の子ども支援に加え、②CFF ジャパンが実施する青年育成事業、③海外活動拡大や新規事業に備えた組織基盤強化も対象とした。CFF ジャパンが目指す青年育成像の明確化と CFF サポーター制度の新設により、団体リーフレットも一新。CFF ジャパンの取り組み全体を支援できる制度として整え、その活動を推進していくための基盤を構築することができた。

(2017年4月現在 CFF サポーター152名)

(6) 設立20周年を記念した式典実施や記念誌の発行において、団体活動メンバーだけでなく、その保護者や友人、関係者などにこれまでの活動実績や活動の意義と価値を報告することができた。

(7) 東京都より認定NPOの認定を受けたことで信頼性の向上に繋がるとともに、社会問題解決のための行動の1つとしての寄付をより積極的に募ることが可能となった。

2. 事業の実施に関する事項
 (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施回数	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
①-a海外での開発教育等を活用した青年育成事業	フィリピンワークキャンプ	5回	フィリピン	2名	日本人115名+現地人	12,000
	フィリピンハッピーキャンプ	1回	フィリピン	1名	日本人19名+現地人	
	フィリピンスタディツアー	2回	フィリピン	1名	日本人40名	
	マレーシアワークキャンプ	5回	マレーシア	2名	日本人118名+現地人	
	マレーシアスタディツアー	2回	マレーシア	1名	日本人43名	
	ミャンマースタディキャンプ	1回	ミャンマー	1名	日本人19名+現地人	
①-b 海外での開発教育等を活用した青年育成事業 -教育機関との協働事業-	順天高校協働事業	通年	フィリピン	3名	日本人80名	
②「子どもの家」支援等を通じた国際協力事業	フィリピン「子どもの家」支援	通年	フィリピン	3名	入所児童+周辺地域	4,490
	マレーシア「子どもの家」支援	通年	マレーシア	3名	入所児童+周辺地域	
③国内での国際協力・青年育成等の啓発・推進事業	イベントへの出展・活動紹介の支援	2回	都内周辺および関西	のべ約80名	不特定多数 一般	67
	フェアトレード商品等の販売の支援 よりみち大学	2回	都内周辺	のべ5名	会員および一般約30名	

(2) その他の事業：特になし